

ドキュメンタリー 映画

松本短期大学看護学科同窓会主催

# 四つの空

# いのちにありがとう

4組の家族の「小さいいのちの物語」

いのちに向き合い、困難を乗り越え、幸せになるための物語

**入場無料**



**上映時間 3回**

① 10:00~11:30 ママ一緒タイム(お子様同伴OK)

② 13:00~14:30 ※ご都合のよい時間にお越し下さい。

③ 15:00~16:30 託児ご希望の方は、1週間前までにご連絡ください。



出演: 鈴木中人、高橋真依、小出朋子、吉岡生未 監督: 杉本幸雄 制作: NPO法人いのちをパトタッチする会他 カラー/76分

## 2016年11月26日(土)

### 松本短期大学 601教室

**入場無料** 定員: 1上映 100名(申し込み不要)

主催: 松本短期大学看護学科同窓会

協力: 松本短期大学

いのちの大切さ、家族の絆、生きる、本当に大切なことをみつめます。

家族や仲間と、あなたの大切な人とともにご覧ください。

生きよう、きっと幸せになれるからと、心感じられる映画です！

## 出演者



鈴木 中人

普通の会社員だった。長女（当時6歳）を3年間闘病して小児がんで亡くす。「殺した」との自責の念、逆縁の悲嘆に沈む。やがて、何の当てもなく会社を辞めて「いのちの授業」をはじめ。8年間で15万人の心を響かせる。

何を思い人生を変えたのか？ 語り継ぐ“いのちのメッセージ”とは？



高橋 真依

小学6年生で白血病を発病。辛い病床で思う、「優しい看護師さん。私も、いつか看護師として病気の子もたちの“いのち”を支えたい」と。しかし、中学3年生のときに後遺症（骨の壊死）が、さらに高校3年生でバセドー病が判明。

どのように夢に向き合おうとしているのか？ そのとき家族は？



小出 朋子

創業明治28年の老舗料理店に嫁ぐ。不妊治療8年、やっと授かった“いのち”は重度障がい児だった。泣くだけ泣いた、「娘にも普通の世界をみせたい」。女将として働きながら合唱団や車イスダンスにも通い一人娘を育てる。

娘と家族、支えてくれる人への感謝、その笑顔の向こうにある思いとは？



吉岡 生未

妊娠23週での緊急出産。医師は父親に伝える、「最悪のことを覚悟してください」と。体重326グラムの女の子は“奇跡のいのち”を授かる。「未」来を「生」きてほしいと、生未と命名。今、障がいを背負いながらも普通小学校に通学。

少女の存在から発せられる生きる力とは？ 見守る家族の願いは？

## 映画

### ■上映会の思い

今、社会が揺れていると言われます。しかし、実は揺れているのは自分の心ではないでしょうか。もう一度自分に問いかけてみませんか。いのち、家族、本当に大切なこととは何か、どう生きるかを。あなたの大切な人とともに。

上映会を通じて、“いのちを感じる、思う、つなぐ”リアルな場を広げて参ります。ぜひ、あなたも大切な仲間の一員としてご参加賜れば幸いです。



家族で、大切な人と、  
みんな来てくださいね

### 予告ダイジェスト版

YouTube 4分30秒  
「四つの空 いのちにありがとう」

<http://youtu.be/rCZv8yv4MWI>



### ■託児申込、お問合せ

事務局 松本短期大学同窓会 大月

メール [e\\_life\\_ma@yahoo.co.jp](mailto:e_life_ma@yahoo.co.jp)

託児申込み・お問合せは事務局にお願いします